

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

1 実践テーマ	【 I II 】
2 実施対象者	石岡市立瓦会小学校 全学年児童60名 ・保護者, 地域住民 122名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ①教科名 (学校行事, 体育, 総合的学習) ②行事名 (おもてなしの心講演会 オリンピック, パラリンピックを学ぶ, ボッチャ体験) ③その他 () (2) 地域における活動 ①イベント名 (おもてなしの心講演会) ②その他 ()
4 目標 (ねらい)	・オリンピック・パラリンピックの歴史を振り返り、「スポーツを通して心と体を鍛え、世界中の人々と交流して平和な世界を築いていこう」という考えで行われるスポーツ大会であることを理解させる。また、パラリンピック種目の疑似体験をすることにより、様々な障害をもったアスリートたちが創意工夫して限界に挑むパラリンピックについて実感をもたせる。
5 取組内容	1 オリンピック・パラリンピックの歴史を学ぶ (5, 6年体育) ①近代オリンピックの概要, 歴史等について学習する ②1964年東京オリンピックのDVDを鑑賞する ③オリンピック, パラリンピックと日本について学ぶ 近代オリンピック教育資料をもとにオリンピックの概要や歴史について学んだり, 1964年東京オリンピックの実録DVDを鑑賞したりして, 2020年東京オリンピック, パラリンピックに向けて意識を高める機会とした。 2 パラリンピック種目「ボッチャ」の実践(5, 6年 総合的学習) 5, 6年生の総合的学習において, パラリンピックの種目である「ボッチャ」を体験した。ボッチャの歴史やパラリンピックに採用された理由を学び, 簡単なルールを説明してから, 学級対抗のボッチャゲームを実施した。 3 「おもてなし講座」の講演会の実施 本校の学校公開日において, 児童, 保護者, 地域住民を対象に「おもてなし講座」を実施した。講師として, 元日本航空のCA, 現筑波大学客員教授の江上いずみ先生をお招きし, 「おもてなし学」を元日本航空CAとしての経験を生かした英語を交えたテンポの良い口調とプレゼンを使いながら興味関心を得るお話を頂いた。



<p>6 主な成果</p>	<p>1 「オリンピック、パラリンピック教育」の授業から（感想等の記入発表）</p> <p>5、6年生が近代オリンピックの概要や歴史を学び、1964年東京オリンピックのDVDを鑑賞することで、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて児童一人一人が興味関心を強くもつことができた。</p> <p>～児童感想から～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックが戦争で中断してしまったり、ボイコットした国があったりしたというのは、初めて知ったのでとてもびっくりしました。東京オリンピック、パラリンピックでは、そんなことが起きずに平和に開催されることを願っています。 ・オリンピックは、いろいろな人種、肌の色、性別、宗教などの差別なくスポーツを競い合うためにオリンピック会場に入場していく様子は、オリンピックが平和の象徴だと言われているところだとよく分かりました。 <p>2 「ボッチャ」の授業実践から</p> <p>5、6年生の体育の授業において、パラリンピックの種目である「ボッチャ」を体験した。ボッチャの歴史やルールを説明してから、学年対抗で実際に疑似体験をしてみた。見た目以上に難しかったが、楽しく体験することができた。</p>  <p>～児童感想から～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始めてボッチャを体験して、すごく盛り上がり楽しいスポーツでした。パラリンピックについてたくさんの人に知ってもらいたいと思いました。 ・ボッチャの授業でパラリンピックのことが分かってとても勉強になりました。東京オリンピック、パラリンピックがますます楽しみになってきました。 ・パラリンピックのボッチャの授業を体験し、パラリンピックに興味をもち、パラリンピックに出場する選手を応援しようと思いました。
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開日を利用して、児童、保護者、地域住民、介護施設等の入所者を巻き込んで「おもてなし講座」を実施することができた。講演では、オリンピック・パラリンピックにおけるおもてなし等のマナーを学び、東京オリンピック、パラリンピックに対する興味関心を高めてもらう機会になった。 ・パラリンピック種目を疑似体験して理解を深めるために、ボッチャの道具を準備したり映像や資料を十分に用意したりして、実際に体験したり視覚で感じ取ったりして夢や感動を伝えられるように工夫した。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の中心を主に5、6年生を中心に体育と総合的な学習の時間の福祉に関する学習を活用して、オリンピック・パラリンピック教育推進を実践した。全校児童が関わったのが「おもてなし講座」だけだったので、委員会活動を活用して全校に広げられた。また、学校だけではなく学校、保護者、地域で取り組む必要性を感じた。実際の活動が2学期からの取り組みだったので、複数年指定を受けて年度始めから綿密な計画を立てて推進することが大切であると感じた。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック教育を近隣小学校にも広めるために、小小連携校でも実践し、国際スポーツの認知や理解、障害者スポーツの実践から、スポーツライフを継続する資質や能力を育てることを継続していきたいと考える。できれば、来年度も推進校に応募して、継続研究したい。